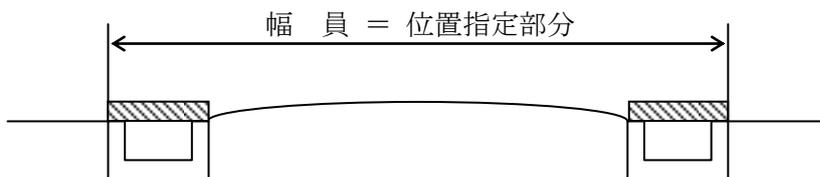


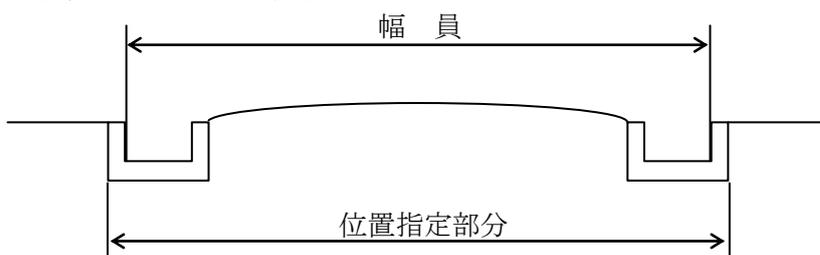
別図第1 (第2条関係)

指定道路の幅員の計測方法

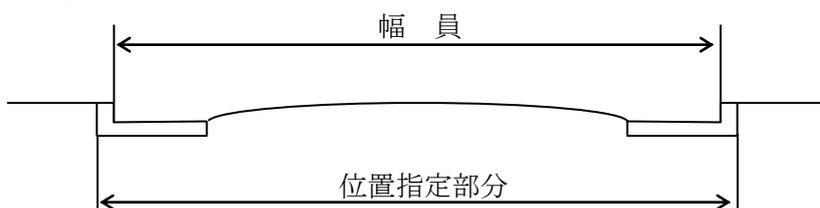
(1) U字溝を設置しフタがある場合



(2) U字溝を設置しフタがない場合



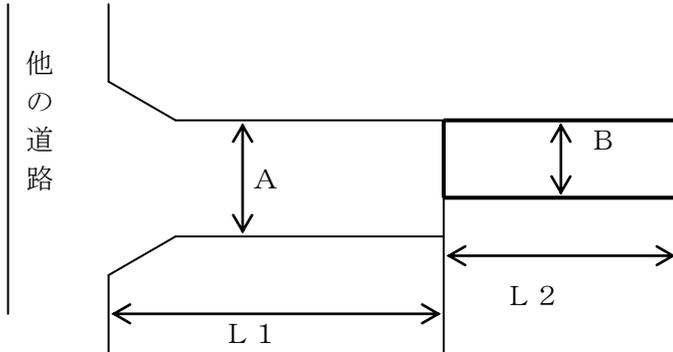
(3) L型溝を設置した場合



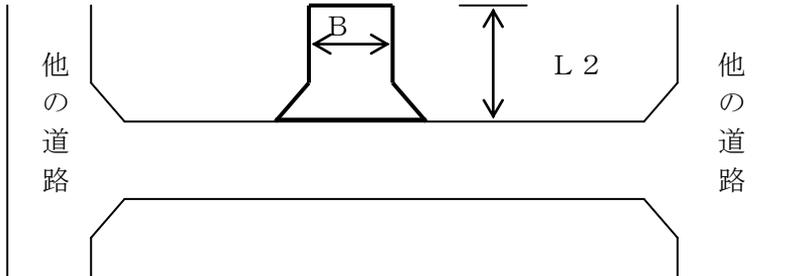
別図第2 (第3条関係)

延長が35m以下の場合

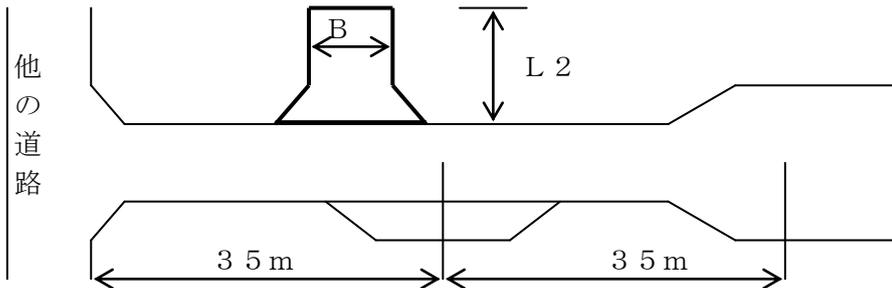
- (1) A、Bともに幅員が4m以上6m未満の場合、 $L1 + L2 \leq 35m$
- (2) Aの幅員が6m以上で、Bの幅員が4m以上6m未満の場合、 $L2 \leq 35m$



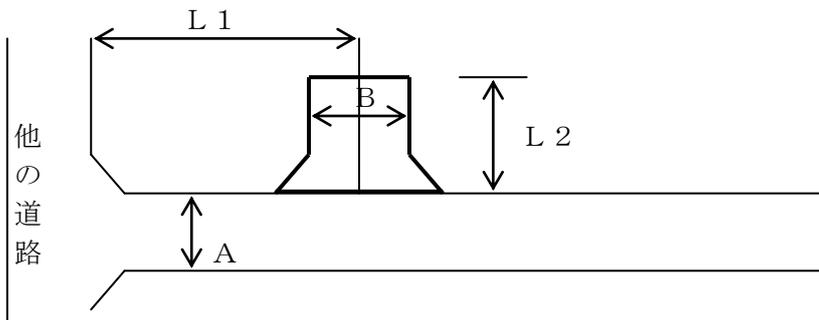
- (3) $4m \leq B < 6m$ の場合、 $L2 \leq 35m$



- (4) $4m \leq B < 6m$ で位置指定の袋路状道路（ただし35mを超える場合に限る）に接続の場合、 $L2 \leq 35m$



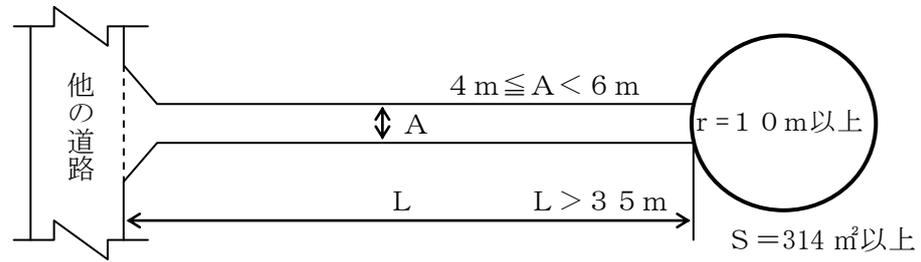
- (5) $4m \leq (A \cdot B) < 6m$ で位置指定の袋路状道路に終端転回広場がない場合、 $L1 + L2 \leq 35m$



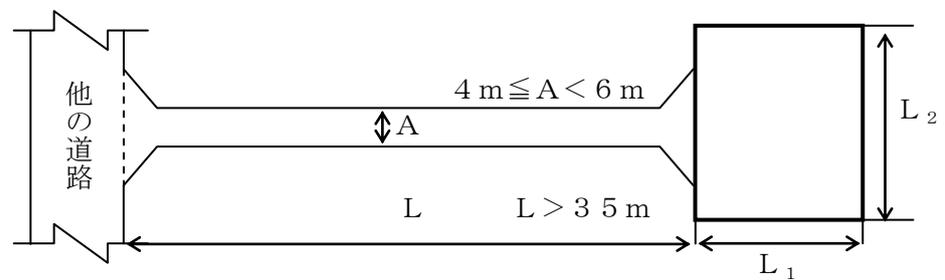
別図第3 (第3条関係)

終端が公園、広場その他これらに類するもので自動車の転回に支障が無いものに接続している場合

(1) 半径10m以上の円



(2) 面積が300m²以上かつ長辺が短辺の1.5倍以内の長方形 ($L_2 \leq 1.5L_1$)

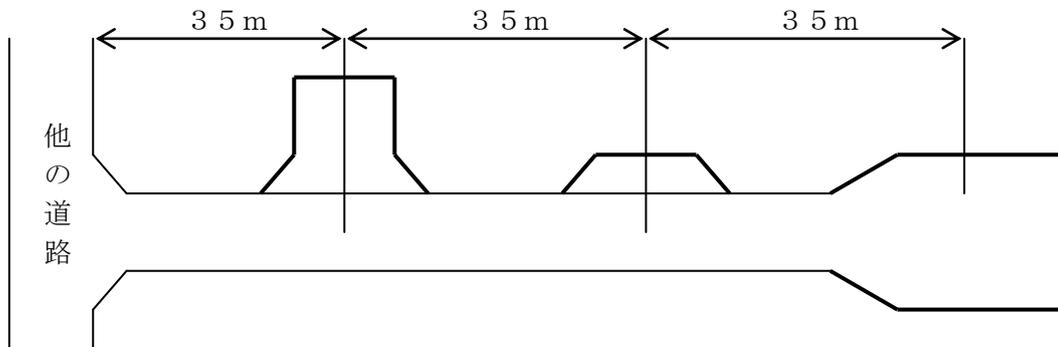


別図第4 (第3条関係)

延長が35mを超える場合で、終端及び区間35m以内ごとに国土交通大臣の定める基準に適合する自動車の転回広場が設けられている場合

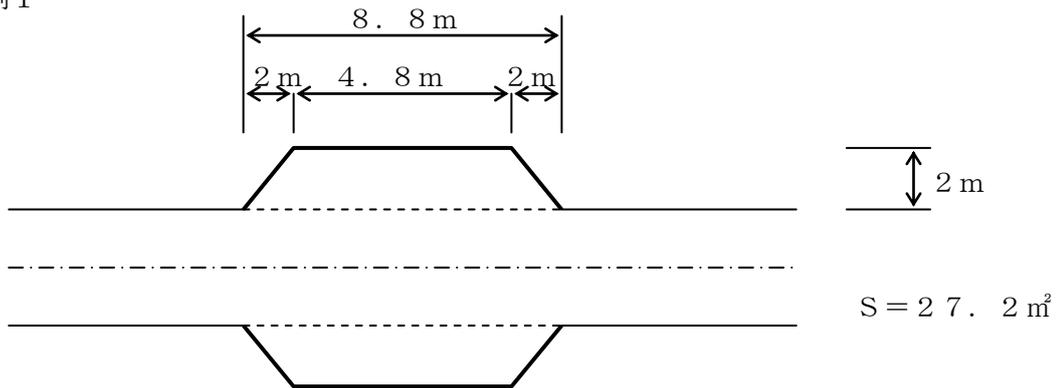
(1) 区間35mの算定方法

- ・他の道路との接続又は自動車の転回広場の中心点を起算点とする

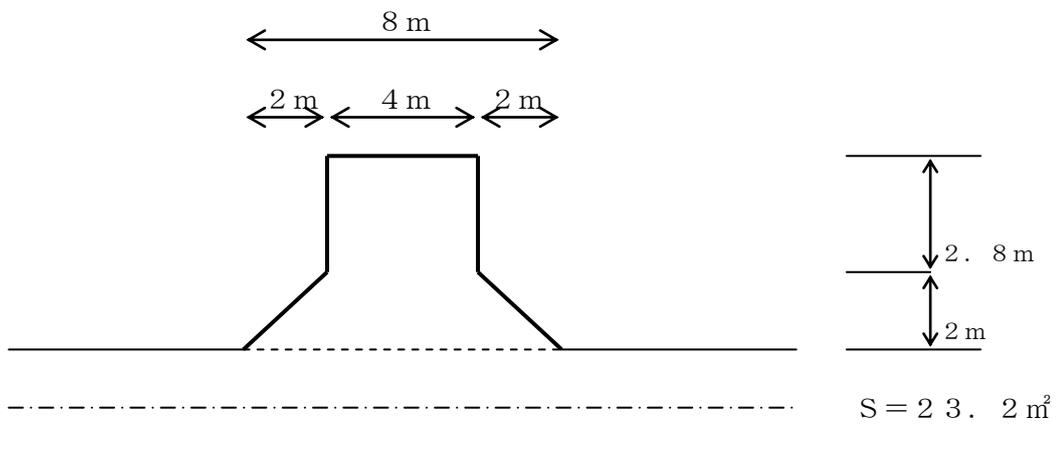


(2) 中間部

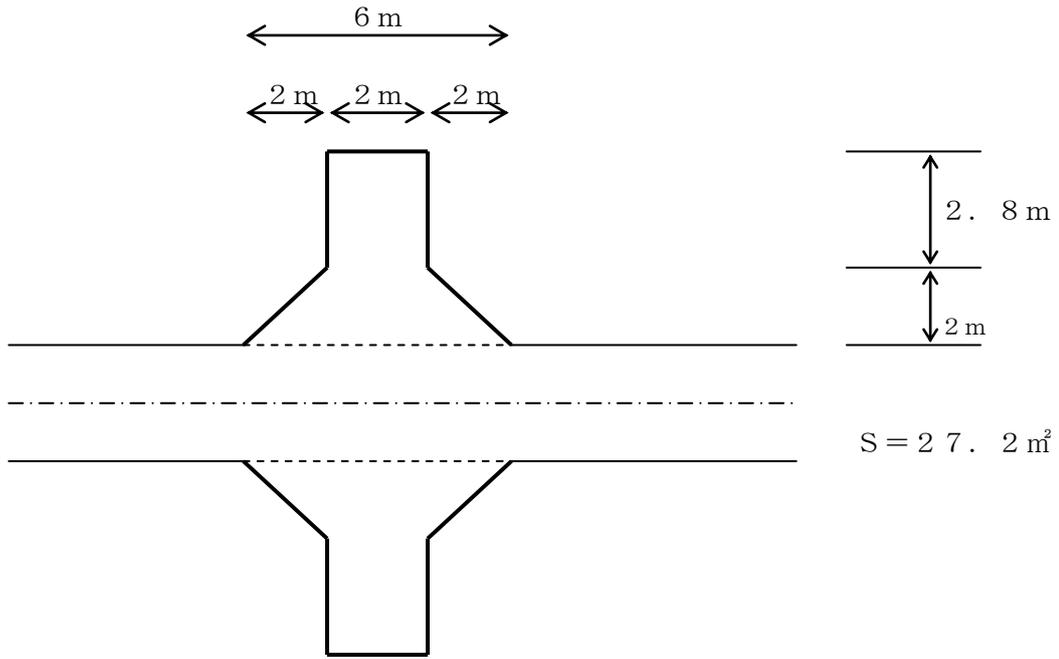
例1



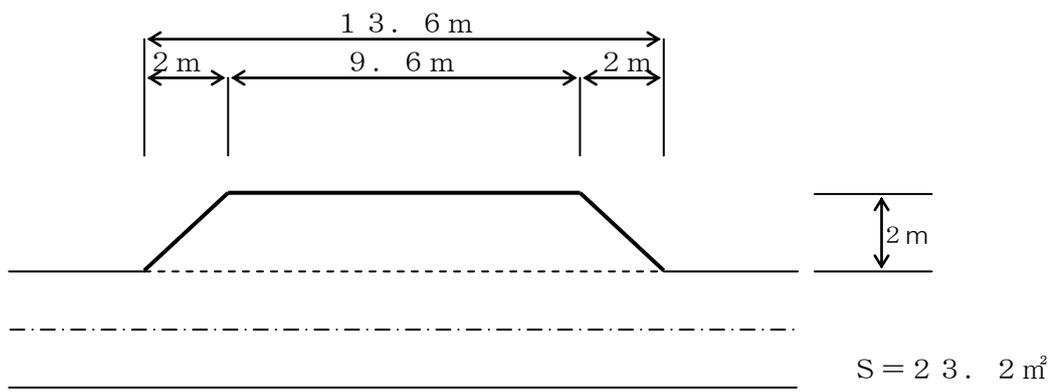
例2



例3

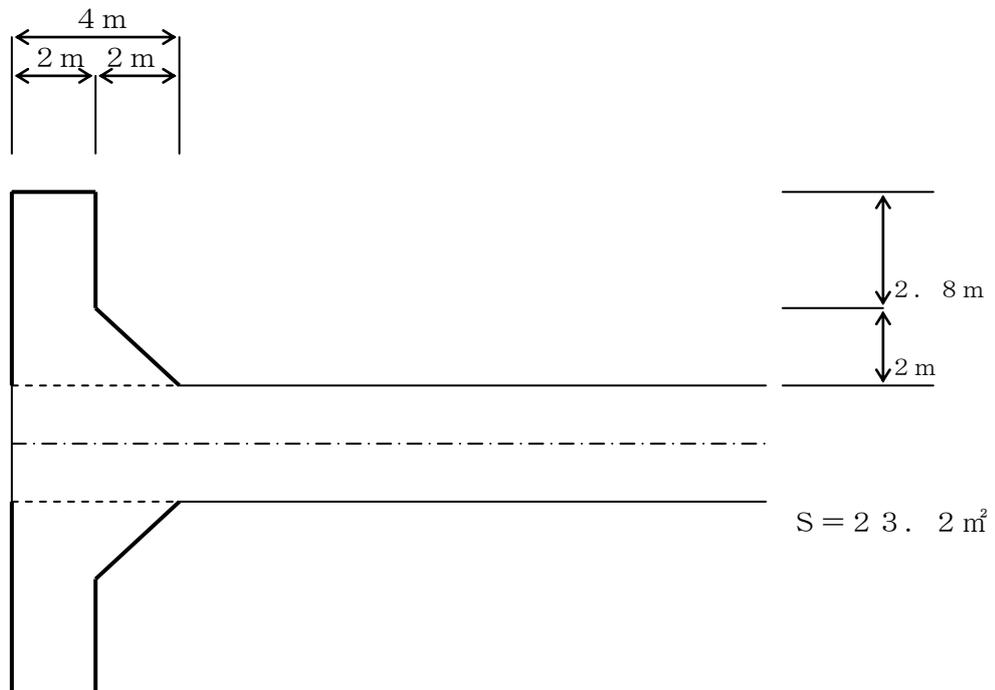


例4

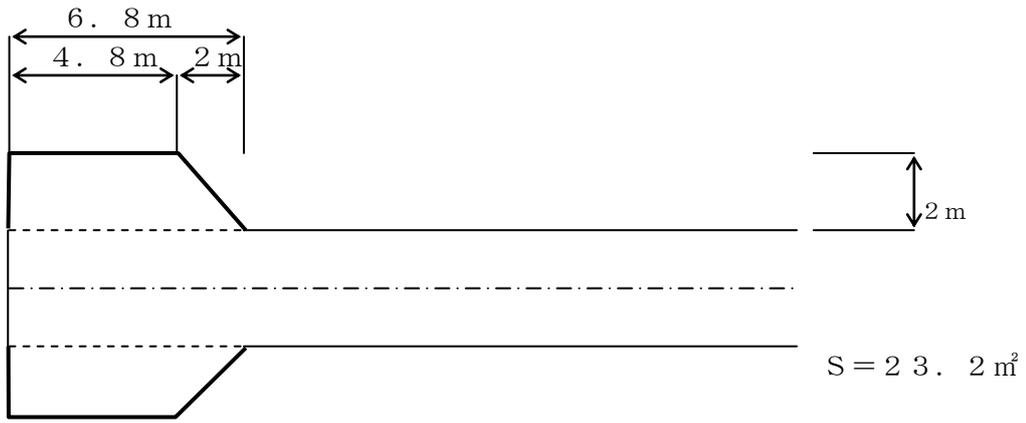


(3) 終端部

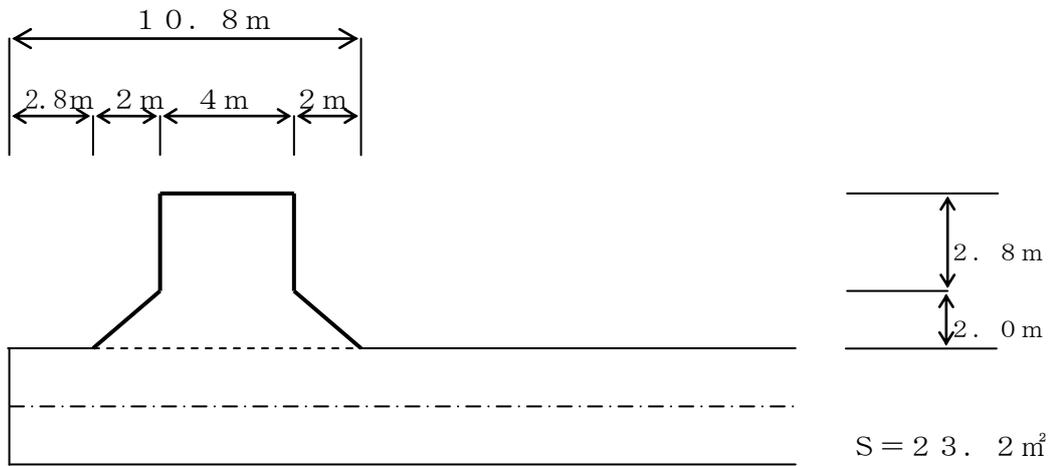
例1



例 2



例 3



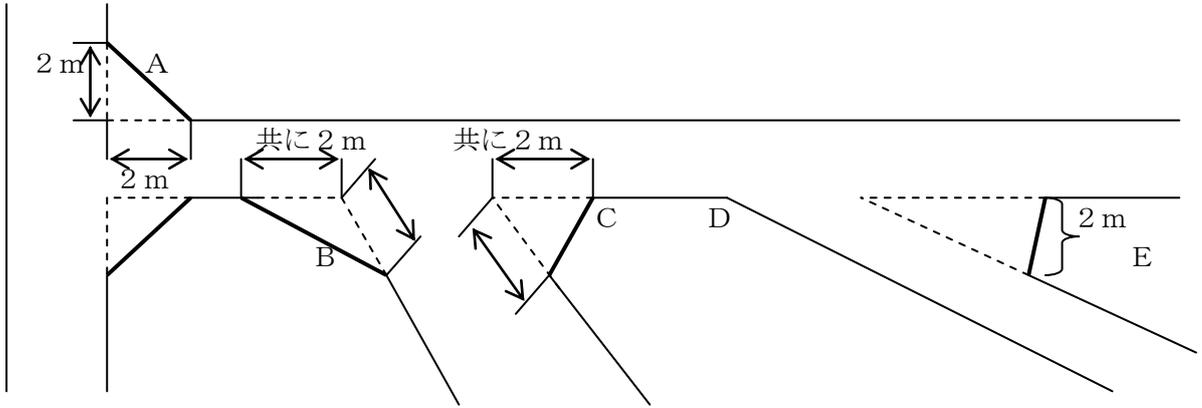
例 4



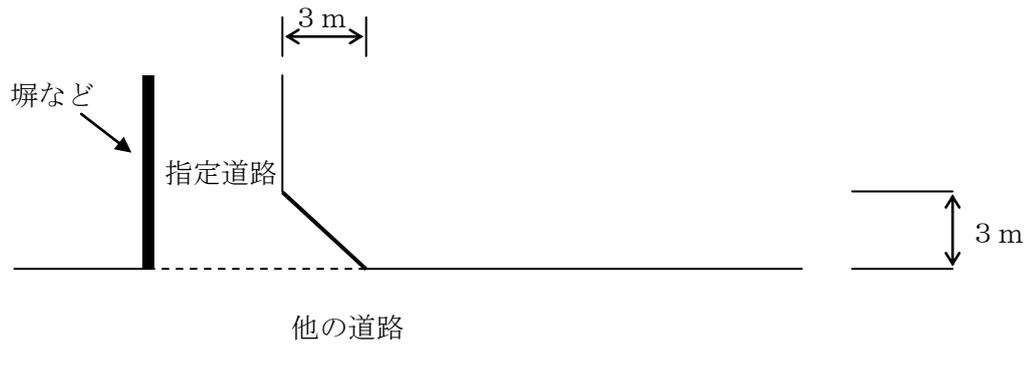
別図第5（第4条関係）

(1) すみ切りの基準

- ・ A、B、Cのように内角が60度超120度未満の場合は、等辺2mの二等辺三角形
- ・ Dのように内角が120度以上の場合は、すみ切り不要
- ・ Eのように60度以下の場合、二等辺三角形の底辺を2mとする



(2) 周囲の状況によりやむを得ず片すみ切りとする場合



(3) すみ切りを設けた場合と同等以上の機能を有している場合は、すみ切り不要

